

阪奈和5 国立大学法人公共工事入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和3年9月10日(金) 15:00~16:40 オンライン会議	
委員	委員 岡本匡央(岡本公認会計士事務所公認会計士) 委員長 中西幸博(大阪大学施設部長) 委員 山田陽彦(樹陽法律事務所弁護士) (50音順)	
審議対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日	
抽出案件(合計)	8件	(備考) 今回の審議対象期間においては、再苦情の申立ての審議依頼はなし。
工事(小計)	6件	
一般競争 (政府調達協定対象工事)	0件	
一般競争 (政府調達協定対象工事を除く)	5件	
公募型指名及び 工事希望型競争	0件	
通常指名競争	0件	
随意契約	1件	
設計・コンサルティング業務	2件	
議題および質疑	議題	別紙のとおり
	質疑	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

質問・意見	回答等
<p>1) 昨年度審議事項の改善結果等について (資料1) (事務局より資料1に基づき説明) (令和2年9月開催の本委員会において委員から指摘された事項はなしとの報告)</p> <p>・ 特になし。</p>	
<p>2) 阪奈和5国立大学法人における契約方法等について (建設工事) (資料2) (事務局より資料2に基づき説明) (奈良女子大学を例に、各大学における予定価格の金額に応じた建設工事の契約・落札方法、等級の設定、地域性考慮の有無について説明) (令和2年度に締結された5大学における建設工事の契約実績について説明し、これらのうち点検事項に該当する案件とその理由について説明)</p> <p>・ 特になし。</p>	
<p>3) 阪奈和5国立大学法人における契約方法等について (設計・コンサルティング) (資料3) (事務局より資料3に基づき説明) (奈良女子大学を例に、各大学における予定価格の金額に応じた設計・コンサルティング業務の契約方法、地域性考慮の有無、手続き開始の公示方法について説明) (令和2年度に締結された5大学における設計・コンサルティング業務の契約実績について説明し、これらのうち点検事項に該当する案件とその理由について説明)</p> <p>・ 特になし。</p>	
<p>4) 審議対象工事及び業務の抽出結果について (資料2、3) (委員長より抽出結果について説明)</p> <p>・ 特になし。</p>	

<p>5) 対象工事及び業務の抽出案件の審議</p> <p><u>一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型））</u> 【大阪教育大学（柏原）基幹・環境整備（昇降機設備） （大阪教育大学より資料4-1に基づき、工事概要及び応札者が1者のみとなった理由を説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 既存の設備に対する改修工事であるのか • エスカレーターの長さほどの位であるのか • エスカレーターの長さや設置場所によって、難しい工事であったのか • 建物の用途として、公共施設、学校施設または研究施設に資格を限定したことによって、参加業者が少なかった原因となっていないか。百貨店や病院の施設を含めてみてはどうだったか 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 既存の機器を一部再利用したものがあるが、新しい設備を導入した工事である。 ➤ 49メートルである。 ➤ エスカレーター自体は特殊なものであるが、エスカレーターメーカーであれば十分対応できる工事である。 ➤ 大学の施設でエスカレーターがある施設は病院くらいであるため、条件を緩和してもよかったかもしれない。
<p><u>随意契約</u> 【大阪教育大学（天王寺）中央館火災報知設備取替工事】 （大阪教育大学より資料4-2に基づき、工事概要及び随意契約のうち少額随意契約でなかった理由を説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 落雷があったのはいつで、火災報知設備の不具合を判明したのはいつか • この工事業者と随意契約した理由はなにか • 不具合の発生後、約2ヶ月間不具合の状態であったのか、また、その期間中の防火対策を講じていたのか、消防署との連携はとっていたのか • 積算は行わず、すべて見積でされたのか • 受信機そのものが故障したのか • 入札契約を行うと日数がかかるため、随意契約にしたのか 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 8月21日に落雷があり、不具合は同日判明した。 ➤ 3者に見積を依頼し、見積額が一番安価であったためである。 ➤ 約2ヶ月間不具合の状態であったが、守衛によるキャンパス巡回を強化するとともに、消防署と協議した結果、消火器の増設等を行った。 ➤ 見積書のみである。 ➤ 受信機そのものが故障した。 ➤ そのとおりである。

<p><u>一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型））</u> 【奈良教育大学（佐保田）ライフライン再生（グラウンド整備）工事】 （奈良教育大学より資料4-3に基づき、工事概要及び落札率が50%以下となった理由及び低入札業者の割合が80%以上となった理由を説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入札参加者に対して低入札業者が多かった理由の分析と、それに向けての今後の対策はあるのか • 長年のグラウンド施工によるノウハウにより、経費を削減できたことは具体的に業者に確認されたのか • グラウンドを整備する重機は特殊なものか 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自社で重機を多数保有し、直営でグラウンド整備をすることが可能であることによって、外注経費が少なくなった旨、業者から聞き取りを行った。また、第1四半期で入札公告を行ったことで、多くの業者が参加したものと思われる。 ➤ 重機を保有していることにより、外注することなく、自社で施工できるため、経費が削減できる旨を業者に確認した。 ➤ 学校のグラウンド以外の施工にも使用できる重機である。
<p><u>一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型））</u> 【奈良女子大学（半田）学生寮新営機械設備工事】 （奈良女子大学より資料4-4に基づき、工事概要及び1回目の入札で落札率が99%以上となった理由を説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 偶然に落札率が99%という絶妙な比率になったという理解でよいか • 公告日と改札日を変更した理由はなにか。また、学内で共有したか • 工事の予算はなにか • 寄附金を使って工事をするのを決定したのはいつか • 評価値で逆転した要素はなにか 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 応札した2者のうち、最低価格を提示した業者よりも、高い価格を提示した業者が評価値で1番となり、評価値の高い者を落札者とする総合評価落札方式であったため、偶然落札率が99%になった。 ➤ コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施設計の積算及び確認申請が遅れ、工事の公告日を先延ばししたためである。また、日程の変更については、学長はじめ学内でも共有した。 ➤ 寄附金及び目的積立金である。 ➤ かなり以前（平成30年）に決定された。 ➤ 配置予定技術者の能力の「工事成績」の点数で最も差がついた。

<ul style="list-style-type: none"> 配置予定技術者の能力の工事成績等は、業者からの提出書類をもって自動的に点数化されるものか 	<ul style="list-style-type: none"> 自動的に評価点が点数化されるものである。
<p>一般競争入札（総合評価落札方式（実績評価型）） 【和歌山大学（吹上他）小学校校舎 3 階トイレ（北）等改修工事】 （和歌山大学より資料 4-5 に基づき、工事概要及び応札者が 1 者のみとなった理由を説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> 入札者が 1 社のみとなった理由を学内の関係者に周知し、確認するための手続きは不要か 工事の難易度も含めて、改修工事の内容はどのようなものか。また、入札参加者数が少なかった理由はなにか 辞退した業者にその理由を聞いたか このトイレ改修工事は、これで終了したのか 学内の予算やある程度見込みのつく経費を活用してトイレ改修工事をするのであれば、現在よりも早く発注すれば適正な競争になるのではないか 	<ul style="list-style-type: none"> 競争参加資格審査委員会では 2 者で報告していたが、入札日に辞退したため、その当日は報告できなかった。 既存のトイレのリフレッシュと洋式から和式化への便所改修であり、難しい工事ではない。また、競争参加資格の条件をかなり緩和したが、地理的条件から少なかったと思われる。 他の工事に従事するため、技術者の確保が困難であることにより辞退した旨確認した。 今後も引き続きトイレ改修工事がある。 検討することとする。

<p><u>一般競争入札（施工体制確認型総合評価落札方式）</u> 【奈良先端大物質創成科学E棟等空調設備改修工事】 （奈良先端科学技術大学院大学より資料4-6に基づき、工事概要及び施工体制確認型総合評価落札方式とした理由を説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 原議書の監査室押印の日付けと工期の始まりの日に、1日ずれがあるが、内部監査のものであり、工期との関係はないため、監査室押印の日付は問題がないのか • 開催期間が空白となっている競争参加資格と審査委員会はどのように開催されているのか • 競争参加資格等審査委員会の開催期間が空白となっているが、いつ開催したのか 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 決裁後の内部監査であるため、日付には問題はない。 ➤ どちらも学内委員会であるため、持ち回り決裁にて開催した。 ➤ 11月18日に開催した。単なる記入漏れである。
<p><u>簡易公募型ポータル方式（拡大）</u> 【大阪教育大学（柏原）音楽棟天井耐震改修設計業務】 （大阪教育大学より資料4-7に基づき、業務概要及び応募者が1者のみとなった理由を説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入札公告の期間は11日間であるが、この日数で通常公告しているのか、また、期間を延ばすことで周知が図られ、参加業者がさらに見込めたのではないのか • 建築業者とは異なり、設計業者については、国立大学の入札公告を頻繁に確認していないと思われるので、公告期間を長くすれば、参加機会が増えるのではないかと思うので、多くの設計業者が参加した公告期間がどの位であったのか確認してみてもどうか • 音楽棟に関する工事を継続して実施されているのか • 理由書には、「5社の入札を見込んでいた」とあり、結果的に1社であったため、今後は入札条件を緩和する予定とのことであるが、工事の内容・難度から、実質的にそのような緩和は可能であるか 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 最低限の公告期間は10日間であり、同時期に公告していた他の設計業務には8社参加表明があったことから、公告期間が短いために参加業者が少なかったとは言えない。 ➤ 過去の実績を踏まえ、入札公告期間をある程度長くすべきか検討したい。 ➤ 天井の耐震対策のため、実施される特殊な要因により行った工事である。 ➤ 今回のような特殊な改修工事の場合には、入札条件の緩和を検討したい。

<p><u>簡易公募型ポータル方式 (拡大)</u></p> <p>【和歌山大学 (栄谷) 西 3 号館改修設備設計業務】 (和歌山大学より資料 4-8 に基づき、業務概要及び応募者が 1 者のみとなった理由を説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 設計業者に参加できなかった理由を確認したか、また、その要因も確認したか • 入札者が 1 社のみになった理由を学内の関係者に周知し、確認するための手続きは不要か • 大学で基本設計を決定した上で、実施設計の委託を設計業者にしているか 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 社内で検討した結果、参加を見合わせたことは確認したが、要因については確認しなかった。 ➤ 審査委員会において、参加しなかった理由を説明し、了承は得た。 ➤ 設計業者には基本設計と言う形では渡しては いないが、学内で検討した資料をレクチャーし 設計を進めている。
<p>6) 指名停止等の状況、再苦情処理の申立状況について (資料 5) (事務局より資料 5 に基づき説明) (令和 2 年度における指名停止案件については、1 件もなかったことを報告) (令和 2 年度における再苦情申し立てについては、1 件もなかったことを報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特になし。 	
<p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 特になし。 	